

くまもと水守 2011例会 報告

水守同士の情報交換や、互いの交流が益々盛んになることを目的に、くまもと水守・2011例会を開催しましたので、その要旨をご報告します。約30名の方にご参加いただきました。

- 【日 時】2月5日(土)午後1時半から4時まで
 【場 所】熊本市水の科学館(熊本市八景水谷公園内)
 【プログラム】Ⅰ 活動発表
 Ⅱ 八景水谷公園散策
 Ⅲ 水道記念館見学
 ※ 閉会后、交流会(茶話会)



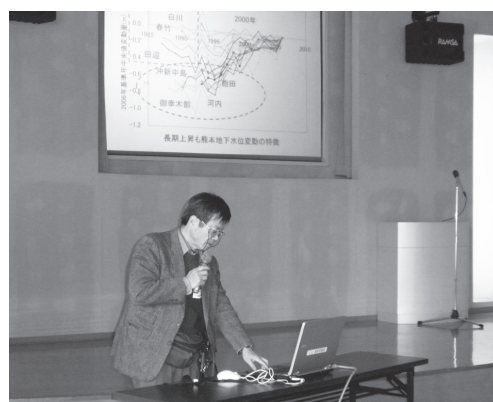
Ⅰ 活動発表(3人)

①福田光治さん(地下水水守)

「地下水と降雨の時間変動」

熊本や大阪の地盤構造の研究やデータ分析など長年にわたり地盤関係のお仕事をされてきた福田さん。いろいろな研究発表の場で、熊本の地下水を紹介しているそうです。

今回は、熊本市内各地の地下水位のデータを用いながら、降水量と地下水位の関係について発表がありました。場所によって降水量が地下水位に敏感に反応する地域があるなど、調査の結果報告があり、今後も時間軸を短くするなどして調査を継続していきたいということです。



②田村実さん(研究水守)・森下吉郎さん(語り部水守)

「熊本の地下水保全—硝酸性窒素問題に警鐘を鳴らす—」

長年にわたり地質学を研究してこられた田村さんと、田村さんの大学時代の教え子であり、理科の教員として活躍されてきた森下さん。最近はお二人で一緒に野外調査などをされているそうです。

今回は、硝酸性窒素による地下水汚染について、お二人で収集された資料などをもとに、特に熊本市東部地区(託麻水源地)の状況について発表がありました。近年濃度が上昇している硝酸性窒素問題について理解を深め対策を考えないと、将来飲めなくなる恐れがあると問題提起していただきました。



③北川進さん(ガイド水守)

「八景水谷・今昔」

小学生の頃、よく遠足で八景水谷公園を訪れており、現在は公園近くにお住まいで、毎週日曜日に公園内を犬と散歩されているという北川さん。古本屋めぐりがお好きで、熊本の古い地図や観光ガイドブックなどをお持ちだそうです。

今回は、八景水谷の古い写真を画面に写しながら、八景水谷の昔と今について語っていただきました。

